

近現代東アジアの人流統治を問い直す ～帝国の力が重ね書きされた場所で～

第1 セクション 3月4日（土）午後1時

指紋管理技術の帝国間連鎖とそのアクチュアリティ

～高野麻子著『指紋と近代』（みすず書房、2016年）をめぐって～

評者：

板垣竜太（人類学・社会史）

高榮蘭（近現代日本語文学）

土井智義（歴史社会学）

リプライ：

高野麻子（歴史社会学）

司会： 李孝徳（ポストコロニアル研究）

第2 セクション 3月5日（日）午後1時

「強制送還」から問い直す主権と主体の歴史性

報告：土井智義 「米国統治期「琉球列島」における「非琉球人」管理体制：

〈送還可能性の法的な生産〉の歴史の意味」

コメント：

遠藤正敬（政治学）

高江洲昌哉（沖縄近代史・島嶼制度史）

高野麻子（歴史社会学）

司会： 戸邊秀明（沖縄近現代史）

会場：東京外国語大学 海外事情研究所（427号）

共催：批判的地域主義に向けた地域研究のダイアレクティック（研究代表：小川英文）

琉球政府の政治的主体性をめぐる戦後沖縄政治社会史の再構築（研究代表：戸邊秀明）

海外事情研究所